

釧路南ロータリークラブ会報

第27回 例会報告 2011.1.21 通算1381回

・点 鐘

木内会長

・会 長 挨拶

・ロ - タリ - ソング

「それでこそロータリー」



ソングリーダー 小野 一明会員



会員の皆様、こんにちは！ 今日幹事が出張で欠席です。最近、釧路は雪が少なく冬晴れが続き大変過ごしやすく、このまま春になってくれれば助かるのですが、2月、3月には大雪が必ず来ます。また、先日のニュースで、オホーツクに流氷が接岸したそうですが、昔ダイビングで流氷に潜水した経験の思い出があります。その当時は、ウエットスーツで海水パンツに履き替えて、ウエットスーツを着る、外の気温はマイナス15℃、今では考えられないことですが、私もまだ若きころで、無理がきいた時代でした。流氷の中は透明度が夏場よりも良くて、約30m以上先も見える透明度です。ただ海に潜るために、穴をあける作業が大変です。氷と氷が重なり合っているので、運が良ければ30分、悪ければ2時間かかります。流氷に穴があくと水が穴に入ってきます。その水は真水に近い水で、流氷と海水は比重が違い、思い海水は海底に、比重の小さな水は海面にと分離されます。また、その水でコーヒーをドリップし、流氷の上で飲むとまた格別な味がします。また、流氷が多い時には5階位までの高さまで盛り上がり、地上から見る景色とは全然違いますので、会

・入 会 記 念 祝

太田 一男会員 H19. 1. 26 (4年目)

・誕 生 祝

高橋 康成会員 S19. 1. 22 (67歳)



員の方も知床に行く機会がありましたら車から降りて流氷を体験して下さい。ただ、風があるときには、流氷には乗らない方が良くと思います。落ちたらあがれなくなり、大変なことに成ります。以上会長の雑学の挨拶とさせていただきます。

・幹事報告 菅井幹事の代理で工藤ゆかり会員



「地区合同セミナー開催」のご案内がきました。今年度は、其々の地域に極力出向いて、会員各位の時間的・金銭的負担を軽減、より多くの会員の参加を謳っております。

つきましては、その第二弾として、東部方面（第6～7分区）の全員を対象に、釧路市を会場にして地区合同セミナーを開催します。本年度は、ロータリー財団や米山奨学会の事業に対して理解して頂くために、全員を参加対象者としておりますのでご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

またセミナー終了後には分区相互の交流を深めて戴くために、懇親会を企画いたしましたので併せてご出席くださいますようお願い申し上げます。

開催日時 2月12日(土)13時00分～19時30分
開催場所 釧路プリンスホテル
登録料 1,000円（懇親会費5,000円）
登録申込期限 1月30日厳守

・委員会報告

親睦委員会

・本日のニコニコ献金

太田 一男会員 入会記念祝として
高橋 康成会員 誕生祝として

出席委員会

会員24名中12名出席 出席率50%

上半期の100%以上出席の方は、佐藤了会員、佐野会員、木内会員、菅井会員、高橋会員、清水会員、工藤会員、佐藤玄史会員です。

・本日のプログラム

「ロータリー理解推進月間に因んで」

担当 ロータリー情報・メディア委員会 長倉会員



本日は、ロータリー理解推進月間という事で、ロータリー情報委員会の北上委員長が担当でしたが、仕事で都合がつかないとの事で、本来でしたらパスト会長からのスピーチが良かったのですが、ご指示ですので、私の方からRIのホームページからの抜粋等をお話させていただきます。

最初に、創立者のポールハリスの、発足の経緯です。1900年のある秋の日、ポール P. ハリスは、弁護士仲間であるボブ・フランクから、富裕層が住むシカゴ北部にある自宅での食事に誘われました。食事後、近所を散歩していた二人は、界隈に

立ち並ぶいくつかの店に立ち寄りました。そこでハリスは、フランクがこれらの店の人たちと友人のように親しげに話していることに驚きを覚えました。弁護士として自立するためにシカゴに引っ越して以来、ハリスは、フランクが地元商店の仲間たちと交わっていたような友情を目にしたことがありませんでした。自分が生まれ育ったニューイングランドの町を彷彿とさせるような友愛の精神を、何とか人々と分かち合い、広げる方法はないかと、ハリスは考えを巡らせました。大都市に住む何百、いや、何千という人々が、自分と同じ思いをしているのではないか…。立身出世するために農場や小さい村からシカゴにやって来た若者たちが大勢いるはずだ…。彼らを一堂に集めたらどうだろうか。彼らも自分と同じように友情を求めているとしたら、きっと何かが生まれ出るに違いない。

— ポール P. ハリス「ロータリーへの私の道」

過去のお話はここまでとして、これから未来に対してのお話ですが、RIより試験的プログラムの案内が届いております。当クラブとしても、今後の会員増強、退会防止に役立つのではないかと考えておりますので、ご案内いたします。国際ロータリーは、2011年7月1日から2014年6月30日にかけて、4つの新しい試験的プログラムを実施します。このたびは、参加クラブの募集についてご連絡させていただいております。

RI長期計画の「クラブの刷新性と柔軟性を育てる」という目標を支えるため、RI理事会は、会員種類とクラブ運営のほかの選択肢を与えることによって、会員の活動と参加、会員増強と維持、会員の多様性、社会奉仕／国際奉仕の増加、ロータリー財団への支援の増加、全体的なクラブの効率に対してどのような影響があるかを調べ、検討したいと考えています。以下に、各試験的プログラムの概要に記載いたしました。また、各プログラムの詳細、選定の指針、参加条件、実行計画を記した概要資料を添付いたしま

したのでご覧ください。

<http://www.rotary.org/ja/members/generalinformation/pilots/pages/ridefault.aspx>

衛星クラブ試験的プログラム

参加クラブは、週のあいだに異なる曜日、場所、時間を設定して、1週間に複数の例会を行うことができます。

法人会員試験的プログラム

定められた入会承認手続きを通じて、クラブの所在地域にある法人や会社がロータリー・クラブの会員となることを認めるものです。これらの法人や会社は、クラブ例会に出席する人物を最高4名まで指定し、プロジェクトでの奉仕やクラブの事柄に関する投票を行い、クラブ役員やクラブ委員会の任に当たることができます。

準会員試験的プログラム

準会員となる人は、一定期間内に正会員になることを視野に、ロータリー・クラブや会員と親交を結び、プログラムやプロジェクトに参加し、クラブ会員にどのようなことが期待されるのかを知ることができます。

革新性と柔軟性のあるロータリー・クラブ試験的プログラム

参加クラブは、クラブ会員と地域のニーズに適したクラブ運営を独自に決定することができます。クラブは標準ロータリー・クラブ定款とロータリー・クラブ細則に変更を加える許可が与えられますが、RI人頭分担金の要件に変更を加えることはできません。

参加クラブ数は、各プログラムにつき200クラブまでとされ、34のゾーンから公平に選ばれます。参加を希望するクラブは、2009年6月30日以前に加盟している必要があります。

試験的プログラムへの参加申請書の提出締切日は、2011年4月1日です。参加クラブは、2011年5月1日までに選ばれます。選出されたクラブは、2011年5月31日までにクラブと地区役員に通知される予定です。

試験的プログラムに参加するには、クラブはRIへの納入義務を果たしており、クラブ会員の3分の2の同意に加え、クラブ会長と会長エレクトの承認が必要となります。添付の試験プログラムの詳細と申請書式をご覧ください。ご質問がある場合は、クラブ・地区支援担当（日本事務局奉仕室）職員までお問い合わせください。記入済みの申請書は、Eメール (ripilotprograms@rotary.org) またはファックス (1-847-556-2196) でお送りください。

ロータリーが今後も発展を続け、変化する世界における組織の未来を揺るぎないものとするよう、試験的プログラムへの参加をご検討いただけますことを願っております。

エド・フタ（布田）国際ロータリー事務総長
次年度に向けて、検討したいと思います。

■「会員卓話」 伊東 良孝会員



北海道の除雪予算と高速道路建設予算が、国の事業仕訳で減らされて大変な事になっている。

今年は雪が多いのに予算が減らされた関係で除雪が少なく道路状態が悪くなっている。雪の量によって速やかに除雪体制がとれるように予算も変えるべ

きだ。高速道路無料化で通行量が増えたが、国交省が増えた分を税金で支払っている。車のない人や高速道路を利用することのできない人も同じように税金の負担をしているわけです。釧路までの高速道路予算も昨年から急激に減らされているので開通が予定より遅れるのではないかと心配している。高速道路の通行料は本来負担すべき人に負担して頂き、道路の建設費や除雪体制などの維持経費に使われなければならない。除雪が悪いと車両が通れない、移動時間がかかる、交通事故の多発など、北海道経済にも悪影響だ。今後国会の場でこうした事も正して行きたい。



・ 次回のプログラム

1月28日（金）

「ゲスト講話」

会場 釧路ロイヤルイン 11F

担当：環境新世代委員会

・ 点 鐘 木内会長

今週の会報担当：福井克美会員